
孫子の兵法いろは書

kamome23

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

孫子の兵法いろは書

【Nコード】

N0364Y

【作者名】

kamome23

【あらすじ】

孫子の兵法について解説していきます。

まえがき

兵法書『孫子』は、孫子の言ったことなどを記録したものです。

孫子は、兵法書の代名詞として扱われることが多いですが、実際の戦闘だけではなく。

敵味方の心理や行動またや内政なども書かれています。

さらには勝負の哲学まで見えてくると思います。

孫子の兵法を書いた著者は、孫武そんぶという人です。

孫武そんぶは、古代中国の春秋時代（紀元前6世紀）あたりに活躍した人です。

現在の『孫子』は、孫武そんぶの後の600年後に世に出た魏の曹操がすこし補足をしたものです。

計・作戦・謀攻・形・勢・虚实・軍争・九変・行軍・九地・火攻・用間の13篇からなっています。

なお、この説明は、『孫子』著者：浅野裕一。出版社：講談社学術文庫。に拠ったこと記し、謝意を表しておきます。

書き方

例

1 兵とは国の大事なり

と書きます。

漢文は、割愛させていただくのでご了承してください。

〈意味〉

ここでは、漢文に沿った解釈をしていきます。

なので、時代は古代中国と大変古いですが思想自体は、現代でも生きています。

〈自分なりの解釈〉

ここでは、kamome23本人が現代にたとえて考えたことを書いていきます。

なので、少し不適切な表現や、読者にとって違うだろうということが多々あるかもしれませんがあらかじめあやまっておきます。

1 兵とは国の大事

1 兵とは国の大事なり

孫子は言います。

戦争は国の重大ごとであつて

国家の命運がかかっています。

なので、その道筋を慎重に考えないわけにはいきません。

5つの事項を持って、敵国と自国を比べるのに計算を用いて、もち実情を求めて知ろうとするのです。

第一に 道

第二に 天

第三に 地

第四に 将

第五に 法

と言います。

これをよく知っている者が戦争に勝ち、知らない者が戦争に敗れるのであります。

なので開戦前には、ほとんど勝敗が見えてきます。

（意味）

『道』

民衆と統治者が一心同体にさせることです。そうすることで、信用、信頼の関係ができ。

戦争においての命令に対して疑問を持たなくなるわけです。

『天』

日かげ日なた、熱い寒い、天候、時節のことを言います。

『地』

敵と味方の距離の遠い近い、地形上の険しさ高い低い、土地の広さです。

戦闘する際の有利不利の土地のことを意味します。それによって負ける地形が生存できる地形などの事です。

『将』

將軍の智恵、信義、仁愛、勇氣と威嚴を言います。

將軍は、

物事を見極める知力。

部下からの信頼。

部下を思いやる仁慈の心。

どんな困難にもくじけない勇氣。

『法』

官位の地位、職務の規定などです。

軍をまとめるために軍法です。

〈自分なりの解釈〉

この言葉は、孫子の中でかなり有名な言葉だと思います。
実際に小説の中などにもよく出てきます。

将軍が、部下を殺したり、飲んだくれたりしていると負けることが多いですね。

この言葉は、現代につながっていることが多いです。

何か計画を進めようにも、

誰が何を欲しいのかというのがわかってないといけません。

人に売る商品は、KYなのではいけません。

それ通しきる、それを続ける心や根回しなどが重要になってきます。

そしてその商品は、法律上大丈夫なのかなども重要になっています。

戦争において言うなら、

戦いを軽々しく行なうな！！ってことです。

何事にも事前の準備が重要で必ず勝てるという状況が出来たら戦うのが一番ということです。

以上で説明を終わりますが、これからこのような形で続くと思うのでよろしく願います。

1 兵とは国の大事（後書き）

このような形でわかりましたか？

もし、わかりにくいようでしたら知らせてください。

「ここが意味が分からないぞー！ー！！！」

などと言ってくださいましたら、できる限りお答えしていきたいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0364y/>

孫子の兵法いろは書

2011年10月30日08時13分発行